

4月の農薬

No. 1 - 1
令和8年4月1日

「安全・安心な農産物づくり」のために農薬の適正使用を徹底しましょう。

水 稲

- ①種子消毒は、塩水選の耕種的防除と薬剤処理のセットで行いましょう。
- ②微生物資材は、保存する際、冷暗所に保管してください。（常温での保管は避けてください）

（種子消毒）

主な病害	農薬名	規格	譲渡書	時期	主な使用方法	使用薬量	
						種子量	薬量・水量
ばか苗病・いもち病	ベンレートT水和剤20	100g 500g	-	浸	①湿粉衣法 乾燥粉重の0.5%粉衣	10kg	50g
						20kg	100g
ばか苗病・いもち病（苗立枯・もみ枯細菌病）	テクリードCフロアブル	100ml 500ml	-	種前	①高濃度短時間処理法 20倍（500ml/10ℓ） 10分間浸漬 ※種子塗抹処理については取扱メーカーにご確認をお願いします。	10kg	1ℓ/ 20ℓ
						（高濃度処理法）	
	タフブロック	100g 500g	-	催芽	①24～48時間浸漬処理 200倍（50g/10ℓ） 微生物資材なので、風乾は省略する ※催芽時処理の場合は24時間種子浸漬	10kg	100g/ 20ℓ
						20kg	200g/ 40ℓ
	エコホープDJ	100g 500g	-	種前	①24～48時間浸漬処理 200倍（50g/10ℓ） 微生物資材なので、風乾は省略する ※催芽時処理の場合は24時間種子浸漬	10kg	100g/ 20ℓ
						20kg	200g/ 40ℓ

注意：1. 薬剤消毒前に塩水選を行ない、水洗した種もみの水を切り、上記のいずれかの方法で消毒する。薬剤を固着させるため、処理後2～3日間はひろげて陰干し後、浸種する。（テクリードCフロアブルは省略可）浸種時、水は2～3日かえない。
2. 使用後の薬剤は河川、池、沼や水路には絶対捨てないこと。
3. 微生物資材は風乾すると効果が落ちるので、浸漬後、そのまま浸種する。
4. 一部地域でスポルタック剤耐性ばか苗病菌が確認されている。効果の低下が見られる場合には使用を中止し、他の薬剤を使用する。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	時期	主な対象病害虫	主な使用方法・使用薬量
育苗期	ナエファイン粉剤	1kg 3kg	-	は種前	フザリウム ピシウム リゾープス	播種前に1箱当たり6～8gを育苗箱土壌に均一に混和する。
	ダチガレエースM粉剤	1kg 3kg	-	は種前	フザリウム ピシウム	は種5～7日前に1箱当たり6～8g、床土・覆土に均一に混合する。（1kg1袋で166～125箱分）
	ダコニール粉剤	3kg	-	は種前	リゾープス（白カビ）	は種前に1箱当たり20g、育苗箱土壌に均一に混和する。（3kg1袋で150箱分）
	ナエファインフロアブル	100ml 250ml	-	緑播種時 から	フザリウム ピシウム リゾープス	1,000～2,000倍（10～5ml/10a）を1箱当たり500ml灌注
	ダコニール1000	250ml 500ml	-	は種時	リゾープス（白カビ）	500～1,000倍（20ml～10ml/10ℓ）を1箱当たり500ml灌注
	タチガレン液剤	100ml 500ml	-	発は種時 及び	フザリウム ピシウム	は種後10日頃に500倍液（20ml/10ℓ）を1箱当たり500ml灌注（100ml1本で100箱分）
期	ルーチンブライト箱粒剤	1kg 10kg	-	（は種時 当日 覆土前）	いもち病 紋枯病 イネドロオイムシ イネミズゾウムシ ツマグロヨコバイ	育苗箱の上から均一に散布する。

注意：低温で発芽抑制や生育抑制を生じるおそれがあるので温度管理に注意する。

水稲の育苗箱施用薬剤は種類によって、育苗箱からこぼれた場合や薬剤処理後のかん水によって、農薬成分が土壌に残留し、後作物で栽培した野菜に吸収され適用外成分として検出されることがある。このため、後作で野菜を栽培するハウス内では以下の事項を厳守する。
1. 水稲育苗箱施用薬剤を処理した苗の育苗は行わない。
2. 水稲育苗箱施用薬剤は処理しない。

りんご

黒星病の発生が問題となっています。雨前散布および十分な薬液量（400～500ℓ/10a）の散布を徹底しましょう。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量 (薬量)	備考
発芽前まで	ハーベストオイル	4ℓ 20ℓ	-	ハダニ類 カイガラムシ類	50倍 (2ℓ)	350ℓ (7ℓ)	い ず れ か
	スプレーオイル	10ℓ 20ℓ	-				
	トップジンM水和剤	500g	-	腐らん病	1,000倍 (100g)	350ℓ (350g)	用
	ベルコート水和剤	500g	-	黒星病	2,000倍 (50g)	350ℓ (175g)	
2週間 展葉期 (発芽後)	ストライド顆粒水和剤	333g	-	黒星病 モニリア病	1,500倍 (67g)	400ℓ (268g)	
	デランフロアブル	500ml	○	黒星病 モニリア病	1,000倍 (100g)	400ℓ (400g)	
	ICボルドー412	5kg 10kg	-	黒星病	30倍 (3.3kg)	400ℓ (13.3kg)	
展葉10日後	ストライド顆粒水和剤	333g	-		1,500倍 (67g)	400ℓ (268g)	
	トレノックスフロアブル	1ℓ 2ℓ	-	黒星病	500倍 (200g)	400ℓ (800g)	
	ICボルドー412	5kg 10kg	-		30倍 (3.3kg)	400ℓ (13.3kg)	
開花直前	オンリーワンフロアブル	250ml	-	黒毛星 どに星 こア病 病病病	2,000倍 (50ml)	400ℓ (200ml)	① い ず れ か
	カナメフロアブル	125ml	○		4,000倍 (25ml)	400ℓ (100ml)	
	ユニックス顆粒水和剤	500g	-	黒星病	2,000倍 (50g)	400ℓ (200g)	② い ず れ か
	トレノックスフロアブル	1ℓ 2ℓ	-	黒星病	500倍 (200ml)	400ℓ (800ml)	
	ペンコゼブ水和剤	500g 1kg	-	黒星病	500倍 (200g)	400ℓ (800g)	
	バイオマックスDF	335g 500g	-	ハマキムシ類 ケムシ類	2,000倍 (50g)	400ℓ (200g)	
	フェニックスフロアブル	250ml 500ml	-	ハマキムシ類 キンモンホソガ ギンモンハモグリガ	4,000倍 (25g)	400ℓ (100g)	
サムコルフロアブル10	200ml 500ml 1ℓ	-		5,000倍 (20ml)	400ℓ 80ml		

※この時期、アブラムシ類の発生が多い場合は、ウララDF2,000倍（展葉初期）を開花期間を除き散布する。（早朝）
※①の薬剤を散布する時は、黒星病およびその他病害の強化のため必ず②を加用する。

すもも

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量 (薬量)	備考
休眠期	石灰硫黄合剤	10ℓ 18ℓ	-	ふくろみ病 (ウメシロカイガラムシ)	10倍 10ℓ	400ℓ (40ℓ)	
	トレノックスフロアブル	1ℓ 2ℓ	-	ふくろみ病	500倍 (200ml)	400ℓ (800ml)	
	スプレーオイル	10ℓ 20ℓ	-	カイガラムシ類	50倍 2ℓ	400ℓ (8ℓ)	
開花前	ICボルドー412	5kg 10kg	-	黒斑病	30倍 3.3g	400ℓ (13.3kg)	

農薬の使用基準は農薬容器のラベルに記載されています。農薬の使用に際しては、ラベルをよく読んで確認して下さい。

- ・本資料は防除の一例です。気象条件や作物の生育状況をふまえ、県関係機関にご相談のうえ、現場に沿った適正な防除指導をお願いいたします。
- ・農薬は登録内容が変更になる場合がございます。使用前に再度登録内容をご確認のうえ、ご使用いただきますようお願いいたします。



もっと近くに。

全農山形県本部 資材エネルギー部

お問い合わせの電話番号 023-687-8700

FAX番号 023-634-8182

農薬はJAマークの製品を！

先入れ先出しの励行を！

4月の農薬

No. 1 - 2
令和8年4月1日

「安全・安心な農産物づくり」のために農薬の適正使用を徹底しましょう。

おうとう

1. ハダニおよびカイガラムシ対策は休眠期から始まっています。下草の管理と合わせて適正に実施しましょう。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍数 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量 (薬量)	備考
休眠期	石灰硫黄合剤	10ℓ 18ℓ	-	カイガラムシ類 (ウメシロカイガラムシ) (ハダニ類)	10倍 (10ℓ)	400ℓ (40ℓ)	混用注意。
	スプレーオイル	10ℓ 20ℓ	-		50倍 (2ℓ)	400ℓ (8ℓ)	(混用方法 -下図) いずれか
	ハーベストオイル	4ℓ 20ℓ	-				
	アブロードフロアブル	500ml	-	カイガラムシ幼虫	1,000倍 (100g)	400ℓ (400g)	オイルに加用
開花直前	トップジンM水和剤	250g 500g	-	灰星 幼果菌核病	1,500倍 (67g)	400ℓ (267g)	いずれか
	トレノックスフロアブル	1ℓ 2ℓ	-		500倍 (200ml)	400ℓ (800ml)	
	バイオマックスDF	335g 500g	-	ハマキムシ類	2,000倍 (50g)	400ℓ (200g)	混用可

注意：訪花昆虫保護のため、開花1週間前から巣箱を撤去するまではバイオマックスDF（満開7日後にフェニックスフロアブル散布可）以外の殺虫剤を散布しない。

もも

1. 管内全域で、せん孔細菌病の発生が多くなっています。必ず、開花始めにICボルドー412を散布してください。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍数 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量 (薬量)	備考
発芽前まで	トレノックスフロアブル	1ℓ 2ℓ	-	縮葉病	500倍 (200g・ml)	350ℓ (700g・ml)	
	スプレーオイル	10ℓ 20ℓ	-	カイガラムシ類 ハダニ類	50倍 (2ℓ)	350ℓ (7ℓ)	
開花前	ICボルドー412	5kg・10kg	-	せん孔細菌病	30倍 (3.3kg)	350ℓ (11.7kg)	

西洋なし(ラ・フランス)

1. 輪紋病、胴枯病の防除を徹底しましょう。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍数 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量 (薬量)	備考
発芽前	石灰硫黄合剤	10ℓ 18ℓ	-	(輪紋病)、(胴枯病) ハダニ類	10倍 (10ℓ)	250ℓ (25ℓ)	混用注意。
	スプレーオイル	10ℓ 20ℓ	-	ハダニ類 カイガラムシ類	50倍 (2ℓ)	250ℓ (5ℓ)	(混用方法 -下図) いずれか
	ハーベストオイル	4ℓ 20ℓ	-				
4月下旬にナシヒメシンクイ対策として「ナシヒメコン」を100本/10a設置する。							
開花直前	バイオマックスDF	335g 500g	-	ハマキムシ類	2,000倍 (50g)	250ℓ (125g)	
	フェニックスフロアブル	250ml 500ml	-	ハマキムシ類 シンクイムシ類 ケムシ類	4,000倍 (25ml)	250ℓ (63ml)	
落花1週間後	トップジンM水和剤	250g 500g	-	胴枯病 輪紋病	1,500倍 (67g)	450ℓ (300g)	

マシン油剤50倍と石灰硫黄合剤10倍の混用方法（100ℓ作る場合）

おうとう（ハーベストオイル・スプレーオイル）

もも（スプレーオイル）

西洋なし（ハーベストオイル・スプレーオイル）



注意：混用後は分離しないように散布終了までかくはん機を絶対止めないこと。(薬害防止)

ぶどう

薬剤散布前に粗皮けずり、前年の房の取り残し部分、巻ヒゲおよび結果母枝の枯死部分などの除去を徹底する。(耕種的防除を積極的に実施しましょう)

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	対象病害虫	倍数 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量 (薬量)	備考
休眠期 (4月上旬)	デランフロアブル	500ml	○	晩腐病 とう病	200倍 (500ml)	300ℓ (1,500ml)	
	※トラサイドA乳剤	500ml	○	ブドウトラカミキリ	300倍 (333ml)	300ℓ (1ℓ)	
発芽直前 (4/下)	石灰硫黄合剤	10ℓ 18ℓ	-	(褐斑病) ブドウサビダニ	20倍 (5ℓ)	300ℓ (15ℓ)	前回の散布から7~10日間隔をあけて散布する。

※(注意) トラサイドA乳剤は今回限りの使用とする。

果樹の除草剤

1. 除草剤使用後の防除器具は、良く洗浄しましょう。
2. 散布は飛散防止のため晴天無風の時にしましょう。

散布時期	農薬名 (主な登録作物)	規格	譲渡書	10a当り 使用量	効果発現	持続期間	特性と作用
春夏期 雑草生育期	ザクサ液剤 (グリホシネートP)	500ml 2ℓ 5ℓ 10ℓ 20ℓ	-	1年生雑草 300~500ml 多年生雑草 500~1,000ml 水量 100~150ℓ	2~5日後	40~60日	展着剤不要 使用回数3回以内収穫前日まで (キウイフルーツ、りんごは収穫21日前まで)
	バスタ液剤 (グリホシネート)	500ml 2.2ℓ 5ℓ 10ℓ	-	1年生雑草 300~500ml 多年生雑草 500~750ml 水量 100~150ℓ	2~5日後	40~60日	1年生雑草及びスギナに効果大。 展着剤不要 使用回数3回以内収穫前日まで (ただし、くりは30日前、りんご、キウイフルーツは収穫21日前まで)
梅雨明け 夏雑草生育期・ 秋期越年生雑草	ラウンドアップマックスロード	500ml 1ℓ 2ℓ 5.5ℓ 20ℓ	-	1年生雑草 200~500ml 多年生雑草 500~1,000ml 水量 少量散布 25~50ℓ 通常散布 50~100ℓ	3~14日後	50~70日	ギシギシ、ヨモギ、タンポポ、チガヤ等に効果大。雑草の生育盛期~開花始期に使用。秋処理は翌春の除草効果が高い。使用回数3回以内展着剤不要収穫7日前まで
	クサクリン液剤	500ml 1ℓ 5ℓ 20ℓ	-	1年生雑草 250~500ml 多年生雑草 500~1,000ml 水量 少量散布 25~50ℓ 通常散布 50~100ℓ	7~14日後	50~70日	ギシギシ、ヨモギ、タンポポ、チガヤ等に効果大。雑草の生育盛期~開花始期に使用。秋処理は翌春の除草効果が高い。使用回数3回以内展着剤不要収穫7日前まで

家庭菜園向けおすすめ農薬

ダントツ粒剤

- 1kg ・定植時に処理することでアブラムシ・コナジラミ・ハモグリバエなどの害虫を防除できます。幅広い作物に登録があり使いやすい剤です。
- 3kg ・ダントツ粒剤専用散粒器「ひと振りちゃん」がついてきます。(※ひと振りですら1g散布できます)